

経済社会学会 編
経済社会学思想の史的展開

経済社会学会年報・II

新 評 論

目 次

I 総説——経済社会学の生い立ち……………	七
一 はじめに……………	七
二 デュルケーム学派の経済社会学……………	八
三 歴史学派と経済社会学(付・制度学派)……………	九
(i) マックス・ウェーバー (ii) ソムバルト (iii) ゴットル (iv) 制度学派	
四 ソムバルトの経済社会学論……………	三
五 マルクスと経済社会学……………	四
六 古典学派経済学とその基礎……………	六
(i) アダム・スミス (ii) ダビッド・リカード (iii) J・S・ミル	
七 近代経済学とその周辺……………	七
(i) イギリスとケムブリッジ学派 (ii) オーストリア学派 (iii) ローザンヌ学派	
八 バレートの経済学と社会学……………	九
九 シュムペーターの経済社会学……………	三
十 わたしと経済社会学……………	四
十一 高田博士の経済社会学……………	六
十二 フランツ・オッペンハイマーの経済社会学……………	七
十三 ウィーゼと経済社会学……………	元
十四 現実性と実践性……………	三

北野熊喜男……………

II A・コントにおける経済と社会…………… 斎藤正二…………… 三五

——経済社会学的概念構成序説——

一 コント社会学の進歩と保守…………… 三五

二 コントにおける経済学的認識…………… 四〇

1 コントと初期経済学 2 経済社会学的意識の芽

三 コントの経済社会学と産業社会の概念…………… 四六

1 コントの歴史的方法 2 コントの産業社会論

III 晩年のマルクスの思想展開…………… 大林信治…………… 五〇

——西欧世界の自己相対化——

一 はじめに…………… 五〇

二 『資本論』段階の資本主義発展像…………… 五九

三 世界史認識の転換…………… 六三

四 マルクス研究へのアプローチ…………… 六六

五 フランス語版『資本論』の背景…………… 七〇

六 『資本論』の論理の自己認識…………… 七五

七 資本主義の類型的認識の萌芽…………… 八〇

八 「とびこえ」論の理論的基礎…………… 八四

九 結びにかえて…………… 八六

IV 歴史学派経済思想における経済と社会…………… 橋本昭一…………… 九〇

——旧歴史学派を中心として——

一 序…………… 九〇

二 リスト…………… 九六

三 ロッシャー…………… 九九

四 ヒルデブランド…………… 一〇三

五 クニース…………… 一〇八

六 まとめ…………… 一一三

参考文献

V ゾムバルトの経済体制論…………… 戸田信正…………… 一二七

——その概念と政策論的体制論の考察——

一 ゾムバルトの経済体制論…………… 一二七

1 経済体制の理念 2 経済体制の形成可能性 3 経済体制の現実性・歴史性 4 ゾムバルトの体制論の性格

二 政策論的経済体制論…………… 一三六

1 経済体制の基本的規定要因と人間主体 2 各基本的規定要因における形成可能性 3 形成可能性の問題点

三 おわりに…………… 一三五

VI シュムペーターにおける経済学と社会学…………… 吉田昇三…………… 一四二

一 はしがき…………… 一四二

二 シュムペーター経済学の特徴…………… 一四四

三 シュムペーター経済学における経済学と社会学…………… 一五三

VII パーソンス説における経済の社会体系的考察…………… 向井利昌…………… 一六一

一 序…………… 一六一

二 経済の社会体系的考察におけるパーソンス説の中心的諸原理…………… 一六三

1 社会体系論 2 社会体系としての経済 3 経済の制度的構造 4 経済的合理性の制度化

5 経済の動態的方向と歴史的展望

三 パーソナルズ説についての検討と諸批判点の提起……………二七
 四 今後の課題……………二七

VII

ガルブレイス理論の経済社会学的考察……………佐藤良一……………二八

一 アメリカの資本主義……………

1 はじめに 2 拮抗力理論……………二八

二 ゆたかな社会—その不均等発展—……………二八

三 欲望の創出—依存効果……………二八

四 大企業体制論……………二九

五 テクノストラクチュアと一貫性の原則……………二九

六 消費者主権の虚構……………二九

七 産業国家から公共国家へ……………二九

八 二つの体制の安定・不安定について……………二九

九 体制改革への必要な措置と問題点……………二九

学会記事……………三〇

編集委員 (アイウエオ順)

- 大林 信治 (大阪大学)
 北野熊喜男 (神戸学院大学)
 斎藤 正二 (日本大学)
 佐藤 良一 (大月短期大学)
 戸田 信正 (同朋大学)
 橋本 昭一 (関西大学)
 向井 利昌 (神戸大学)
 吉田 昇三 (近畿大学)

経済社会学思想の史的展開

(検印廃止)

1978年11月20日 初版第1刷発行

編集代表者 早瀬利雄

発行者 二瓶一郎

発行所 株式会社 新評論

〒160 東京都新宿区西早稲田3-16-28 電話 東京(202) 7391番

振替 東京 6-113487 番

印刷 熊谷印刷 製本 稲田製本所

落丁・乱丁本はお取替えます

©早瀬利雄 1978年

3033—330133—3177

Printed in Japan